

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのぞみ（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2024年12月16日		～ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	総合職6名	(回答者数) 総合職6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月31日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間のチームワークが取れていること 共通理解が出来ていて、スタッフの協力が密に取れていること、その上で子ども達の健やかな成長を育んでいること	毎週 クラスの様子を伝えあう時間を設け、職員全員で共通認識を持ち、支援を考えている。家庭でのこと園での様子を全員で把握できていること	困難事例に直面した時など、関係機関とケース会議をして、早期解決の糸口をつかむため、他機関との連携を密にしておきます
2	就学に向けてのスムーズな取り組み 就学先選び相談の充実	就学に向けて、学校見学への同行 就学先との連携 教育委員会との話し合い 保護者の意向を聞き、子どもに合わせた適切な支援を行っています	発達検査や、園での様子を通して、保護者との面談を密にし、子どもにとって最適な学校選びの支援が出来るように職員がスキルをあげていきます
3	プログラムの充実 季節に合わせた子どもが楽しめる取り組み	年間計画を立て、係を決め担当がスムーズに動き準備をしていくようシステムを作っています	個々のスタッフが持っているアイデアを存分に発揮してチーム力を発揮し、毎年バージョンアップしていけるように努めています

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置はクリアしているし、多く配置していますが、職員の中にはもっと人数が必要と感じています 職場の環境改善が必要と思われます	休憩時間を交代でとるために、交代要員が必要でそのため職員の数が多いこと	工夫次第の部分も考えられるので、5クラス編成の職員配置の在り方や、行事の時の職員の動きなどを工夫していきます 実際に1対1対応の子どもが多いのは事実です 職員が疲弊しないよう対策を構築することが必要です
2	地域の中での子どもとの交流（外部との交流）が積極的ではないこと	法人内の園での交流会は少しずつ取り組んできました 保護者によっては外部との交流の必要性をあまり感じておられない方も見受けられます	少しずつ、地域の行事に関わっていきけるようにしていきます まずは法人内で慣れて他園との交流を試みていきます またこの地区での交流に参加できそうであれば参加していきます
3	センターが三原市に一つなので、中核的な役割を行っているが、自立支援協議会（児童支援部会）などコロナ禍ではオンライン会議が多く事業所間のつながりが少し薄くなっていること	自立支援協議会の参加メンバーの意見を吸い上げ、事業所で困っていることや、新制度への対応などを共に考えていかなければならないこと	三原市の事業所間の関係を密にし、自立支援協議会の参加を促して、スタッフが直接会って話し合う場を多く持ち 意見交換が出来るようにしていきます。（現在もしていますが、促進できるようにします。）

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センターのみ（児童発達支援）				公表日	2025年2月12日	
					利用児童数	2025年1月10日現在 46名 回収数 37名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	35	1	1	0	施設の一つ一つの部屋がとても広いです。園庭もプレイルームもあり、子どもたちはのびのびしています。教室、園庭がせまいかなと思いますが子ども達にはちょうどいいのかな。たくさん身体を動かす場があり、わが子にありがたいです。	広いと感じる方と狭いと感じる方とあります。基準の広さは確保しておりますのでご安心ください。プレイルームや遊戯室でしっかり身体を動かしていただけるようプログラムを組んでまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1	0	4	十分に配置されていると感じます。配置数等わかりませんが、どの先生も親切で安心して通わせることが出来ます。	職員の配置数は基準より多く配置し、子ども達へのかかわりが丁寧に行えるようにしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	32	2	0	3	見やすく理解できるように絵などで対応してもらっています。	環境設定は、子どもにわかりやすく、見通しが持てるように取り組んでいます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	1	0	2	きれいにされている。紙パンツは直接床に座って履かず、立って履くようにしてほしいです。とても清潔な部屋だと思います。	紙パンツのご指摘については、成長過程にあわせて支援しています。床に直接ではなくマットの上で履くようにしました。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	0	0	0	特性がある中、無理をさせず、親身に支援して下さっていると思います。	多職種のスタッフが連携し、一人の子どもを色々な角度からとらえ支援をさせていただいています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	0	0	5		支援プログラムは今年度作成しました。ホームページでご覧になって頂きながらご期待に沿えるよう支援してまいります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	2	0	0		一人ひとりの把握に努め、個別支援計画を作成させて頂いています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	0	0	6	児童発達支援ガイドラインがわかりません。	保護者の皆さんに児童発達支援ガイドラインの内容を広くお伝えしなければいけないことを反省しております。インターネットでご覧になれることをお伝えしてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	0	0	0		保護者の方への説明を丁寧に行い、計画に沿った支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	34	0	1	2	毎週違う活動をして下さいます。毎月、いろいろなイベントがあります。園庭でもさまざまな遊びを支援してもらえ、制作なども見せてもらっています。	子どもの姿や状態に応じた活動内容や方法を提供できるよう努めています。季節感を感じられるプログラムもあり、子どもたちが楽しめるようにスタッフで今後も検討しております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	29	3	0	5	近くのこども園で交流が何回ありました。どんどん今よりもこういった場があれば刺激になっていいかと思います。	法人内のこども園と交流を楽しんでいます。一緒に過ごす楽しさを味わっています。最初は恥ずかしさもありましたが、徐々に慣れてきました。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	1	0	1		これからも、契約時に説明させていただきます。（支援プログラムに関してはホームページにアップいたしました）
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1	0	0	丁寧に説明してもらっています。我が子のごことをよく見て計画されていると思います。	個別支援計画は保護者との時間を設定し説明させて頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	26	4	2	5	保護者同士の集まりはある。同学年の集まりがあればいいと思います。もう少し集まりが多くても良いと思います。機会があったのに参加できなかったです。親たちの集まりももっとあれば情報交換とかできて嬉しいです。	就学説明会を行っております。その際に少し茶話会のように話せる会を設定させて頂きました。集まりをもっとしたいという要望は受け止めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	36	0	1	0	学期ごとに個別の療育時間があり、フィードバックがあります。連絡帳で細かく教えてもらいたいあります。専門的に見ていただいていると感じます。親がしんどいと思っているタイミングで何時も声をかけて下さる担任の先生に感謝しています。	個別の際には保護者の方とフィードバックをさせて頂いております。その時に園での様子やご家庭の様子を共有しています。普段は連絡帳や送迎の時に様子伺い、状況を把握するように努めております。

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	6	0	0	担任の先生や、臨床心理士の先生に相談に乗っていただき、支えてもらっています。	担任はもちろんのこと、週に1度の職員会議では全員の様子を共通理解し、面談等で声をかけさせていただいています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	0	2	家での困った行動に対してアドバイスしていただき助かりました。	保護者の方に寄り添いながら、職員全員で共有した上で、子どもたちへの支援を行います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	6	2	8	兄弟の支援はまだ小さいからないかと思っていました。保護者の交流会はありがたいです。コロナが落ち着き、少しずつ回数が増えてきました。きょうだい同士の交流の機会はないがあっても参加しないと思います。父母会等苦手なのですが、毎回出席してみても良かったと思えました。兄弟向けのイベントがあれば是非参加したいです。	兄弟支援は行っておりませんが、面談を通して相談されたことは、個別に対応しています。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	2	0	2	食への配慮をしてくれています。すぐに対応してもらっています。	各相談に関しては、即対応を心がけております。即決が難しい場合には、ケース会議を設けて対応させていただいています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3	0	1	連絡帳、電話、直接話すなどいろいろある。連絡帳に毎日たくさん書いて下さり子どもの様子がとてもよくわかり感謝している。	連絡帳や電話による対応が多いですが、メールで行う場合もあります。メールの方がいいと言われる方もおられますので、活用させていただいています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	0	0	4	活動の内容が写真入りで紙面で渡されるのでとても助かります。おたよりを見て、していることがよくわかり嬉しいです。いつも楽しみにしています。	自己評価の公表はホームページでさせていただいています。のぞみだより、法人広報は紙面でお配りさせていただいています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	1	0	4		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	3	0	4	門が厳重に管理されています。園児が出入りする時も職員が気を付けています。全体のマニュアルはまだ知らないこともありますが、感染症については大丈夫ですが、火事・地震の想定の時が気になります。	全マニュアルを保護者に周知は出来ておりませんが、安全対策 感染症対策 緊急時対策は都度しております。避難訓練は毎月しており、火事・地震・不審者・水害等を想定した訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	3	0	5	月に1回避難訓練があります。訓練の時の子どもの様子を教えてもらえるので安心しています。後でふり返る為に連絡帳へ記入してほしいです。	毎年、三原消防署に消防計画を、三原市に避難確保計画も提出しています。園だよりで様子をお知らせすることもありますが、その都度、ご報告できるように体制作りをしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	2	0	2		園バスをはじめ、安全確保には十分務めて支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	32	1	0	4	怪我をしたときは帰りのお迎え時や電話で伝えられています。些細なことでもすぐに知らせて下さるので安心してます。	怪我や病気で緊急対応が必要な時は迅速に対応します。また状態によっては保護者と病院に行くこともあります。発生からの説明は事細かに説明を行います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37	0	0	0	しっかり対応してもらっているので、任せることが出来ます。のぞみを休む日を嫌がるのでとても楽しい場所と思っています。先生の名前を家でもいうくらいで安心出来る存在なのだと思います。	子どもたちが、楽しんでのぞみに通ってくれることを第一と考えています。安心して過ごせる場となるよう信頼関係を構築し、職員との愛着関係から友達や色々な人との関係に広がっているよう一緒に過ごす時間を大切にしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	1	0	0	毎日のぞみに行くことを楽しみにしています。息子は楽しくいっています。家では出来ないことを経験させていただきありがたいです。行き渋りがある時期もあったが、最近は行き渋りもなくリズムも崩れず生活出来ています。	色々な季節に合ったプログラムを用意しドキドキ・ワクワク感を持って取り組めるように支援します。子どもたちが「のぞみにいきたい」「今日は何するのかな」など期待を持っていただけるよう職員一同頑張っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1	0	0	のぞみに通園して子どもの成長を日々感じています。子どもの特性を理解してその子に合った支援をして下さりありがたいです。いつも細かくケアしてもらいたい。我が子は転園という形ではなかったが、変わってよかったと本当に思っています。	のぞみの支援にご満足いただけるように多職種が密な連携をとってまいります。チームで支えていく姿勢で子どもたち一人ひとりに関わっています。これからもうご意見をいただきながら、成長していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	こども発達支援センターのぞみ (児童発達支援)				公表日	2025年 2月 12日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	十分なスペースを確保しています。	安全に運営を行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	定員30名を5クラス編成にしています。職員はクラスに3～4名を配備しています。個別に1対1対応が必要な子どもが多い日は、他クラスと協力しながら行っています。	状況によっては職員が少ないと感じる時があるので協力していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	個々の発達に合わせ、安全に過ごしやすい環境に配慮しています。	車椅子用のスロープに屋根が無い為、雨天時は使用が難しいです。完全なバリアフリー化には時間がかかりますが取り組んでいきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日の清掃、消毒を行い環境を整えています。遊戯室とプレイルームでは遊具の配置を工夫し身体をしっかりと動かせるようにしています。使い方についてはクラス間で話し合い順番に利用しています。	プレイルームの天井が低く、蛍光灯の位置も近い為、吊り具の位置が限定されてしまい十分に感覚遊具でニーズを満たせてないと思うことがあります。共有して利用しているプレイルームを曜日によっては利用配分がうまくできない時があるのでもっと工夫しなくてはなりません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	発達検査や個別相談、クールダウンが必要な時など、状況に合わせて部屋を変えて対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	会議で全員がクラスの事を共有し 振り返りを行っています。その場にはない職員は、会議の連絡ノートで確認するなど漏れのないようにしています。またクラスで口頭で伝えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	毎年アンケートで貴重な意見をいただき改善に努めています。	すぐに改善できることはすぐに行います。難しい問題については、時間を必要としますが、検討します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	残業を出来るだけしないように、時間内に書類を終了する為に仕事内容を分けています。	精一杯仕事に取り組んでいますが業務改善には至っていません。少しずつ改善できるように仕事の効率を上げていく工夫をします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6		第三者による外部評価は行っておりません。法人全体で考えてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	研修は出来るだけ受けるようにしています。年間計画を立て、職員のスキルアップにつなげています。内部研修・外部研修共に職員が全員で共有できる研修内容を報告する時間(会議内)を設けています。	研修などで職員が抜けにくい状況があります。担任で入れる職員を増やすなど工夫していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムはこの度、三原のぞみのホームページに公表いたしました。	第1回目の支援プログラムです。今後は年月を追うごとにバージョンアップしていきたいと思っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	アセスメントをしっかりとることが子どもの分析に繋がり多職種が連携して児童発達支援計画を立てています。保護者との面談を大切に、作成した児童発達支援計画を説明しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	職員全員が共通理解して、多職種の職員が連携しチームで考えています。職員会議で全員の周知を徹底しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	必要な支援につながるよう職員間で共有しています。計画に沿った支援が行われるように職員のコミュニケーションを密に取り子どもの共有を普段から行っています。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	インフォーマルなアセスメントはしっかりとれています。	フォーマルなアセスメントをどのように取り入れていくかは検討しなくてはならないです。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	本人支援・家族支援については具体的な項目として職員も認知しています。慣れているので、計画にも書きやすいです。	移行支援・地域連携については支援内容が明確でないと感じにくいので、今後も職員で検討していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	全体での話し合い、各クラスの話し合いでチームで立案しています。	多職種がいることを生かし、色々な視点で活動を考えていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	昨年のことは参考にしてはいますが、一人一人子どもに合わせ楽しめる内容のものを工夫しています。	今後も子どもの姿に合った、適した活動を組み立てていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	個別とグループ活動の両方の観点から子どもの支援計画を作成しています。	今後も一人の時と、集団の時の子どもの表現力の違いを捉え、チームで見守りながら支援していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝礼で情報の共有を図っています。参加していない職員も出勤時に朝礼の内容を確認するようにしています。送迎は偏らないように職員が交代して工夫しています。	打ち合わせは、しっかりとすることが出来るように計画性を持って活動を考えていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	子どもの様子を話し情報の共有をしています。次の療育につながるような話し合いを心がけています。	振り返りの時間を大切に、各職員の気付きの中から発見もあるので、今後もコミュニケーションをしっかりと取っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の記録は、その日の療育終了後に必ず記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	定期的にモニタリングを行う中で、子どもの成長を改めて感じる事が多く、仕事のやりがいを感じています。見直しをすることで、その子の評価、必要な支援を考えています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	その子の様子が一番よくわかる職員が参加しています。相談支援事業所とも関係が密になり、やり取りも多くなりました。	今後も必要に応じて、他機関と情報を共有し、必要な支援の方向性を考えていきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	管理者を始め、担当職員が連携をとっています。	今後も必要に応じて、他機関と情報を共有し、必要な支援体制を整えていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	併行利用児は併行園の担任とお互いの様子を話すように努めています。職員は相手の園の立場になって接し相互理解に努めています。共通した支援で子どもを応援しています。	今後も相互理解を図り、その子が生きやすい生活になるよう努めていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	就学時は密な連携をとっています。一人一人の連携の時間を確保しスムーズな小学校生活が始まる前と開始した後も連携をとっています。	今後も必要に応じた連携を行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	6	0	自立支援協議会で横のつながりを大切にし、三原市全体の療育向上に努めています。自立支援協議会（児童支援部会）の部会長を担っておりセンターとして、三原市全体のことも考えています。	今後も三原市で連携を図っていきます。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	0	外部研修には参加し、質の向上を図っています。今年度は広島県東部幼児通園療育機関協議会などの研修に参加し事例検討などを行いアドバイスを受けています。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	6	0	センターが三原市は一つなので、部会長を務めています。三原市における事業所の会議の取りまとめや参加しやすい会議になるように努めています。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイスや助言等を受ける機会を設けているか。					

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	法人内のこども園が近くにあり、仲良し会（交流会）を行っています。楽しく会を開くことが出ています。	今後も継続していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	連絡帳を通じて日々の様子を伝えており、電話やメールも利用し、日々の連絡は密にしています。発達の喜びを分かち合っていると思います。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	先輩保護者の方に来ていただき話を聞く会や茶話会は開催しています。ペアレントトレーニングとしての会は行っていません。個別に面談をして対応しています。	取り掛かりとしてはペアレントメンターに来ていただくことも検討しています。計画性を持って取り組んでいきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に伝えています。支援プログラムについてはインターネットの公表でお知らせしています。利用者負担は必ず説明しています。	支援プログラムについては これからの説明となります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	家での様子を伺い、又保護者の移行を踏まえた支援計画になるよう努めています。保護者の思いが強く子どもにとっての方向性が違う時は話し合いを重ねています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	保護者には児童発達支援計画と一緒に作っていくものと丁寧に説明し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	定期的な面談を行っています。深刻なケースについては職員間で話した後 連携機関に相談もしています。東部家庭センター等の専門機関と連携もしています。	今後も状況に適した対応ができるよう、他機関とも連携を図っていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	保護者会はありませんが、保護者が集まる場を設けるようにしています。今年度は1回実施しております。兄弟児の直接的な支援は行えていませんが、個別の相談には応じています。	保護者ニーズにお応えしながら、保護者同士が集まれる場を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	迅速に対応しています。ケース会議が必要な時は即座に開くよう努めています。	今後も関係機関にすぐ声かけが出来るように普段からの連携を密にしていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	のぞみだよりを書面で毎月配り、行事予定をお知らせしています。法人の広報誌も書面やホームページで広くご覧頂いています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	入園時に契約を交わす中で個人情報の取り扱いには十分配慮しています。写真など掲載時には特に気を配っています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	その方に合わせた対応をしています（電話、メール視覚的にわかりやすくする手紙など）。最近では外国の方の利用も増え、わかりやすく連絡をとっています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		出ていないので、これからの課題となります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	担当者を決めて、マニュアルを制作し、委員会を実施することで想定した話し合いや見直しを行っています。	マニュアルを作ったら安心ではなく、今後できることから実践するようにしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCP策定委員会を隔月に一度行っています。定期的な避難訓練を行い、災害時に備えた訓練は子どもを怯えさせたりしないような工夫をしています。	色々な想定を考えていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	てんかんのある子どもに関しては保護者から情報収集し、常時備えておく薬は園の冷蔵庫に保管しています。個人ファイルに緊急対応を載せ個別に必要な対応を一覧表にしてすぐに対応できるよう掲示しています。発作対応で救急車の要請が必要な場合に備え、消防署に届出をしています。	今後も入園時は必ず、年度毎に保護者と情報の確認を行っていきます。

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	対応児は必ず医師の指示書を提出して頂き、調理員を始め、職員全員がその日のメニューを朝礼で確認し周知しています。	新たなアレルギーが発生することがあるので、その都度指示書で確認をしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全安心第一で過ごせるように各委員が役割を持って取り組んでいます。通園バス運行（安全運転管理責任者）や感染症対策（衛生委員会）等、安全管理に関する措置をとっています。施設確認や登っていきそうな所はネットを張るなどして抜け出しが無いよう安全対策に努めています。	今後も安全対策は、全職員で行っていきます。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	緊急時の対応がとれるよう家族に周知しています。契約時に緊急時対応について保護者に説明していますが、水害・台風の時期には今一度注意喚起を促すようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット・インシデントの報告は即座に行い、検討は定期的に行っています。小さなことでも大きい危険に繋がると意識していま	今後も再発防止に努めていきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	国や県の研修を管理者が受け、全職員に周知しています。虐待防止委員会を隔月実施し、研修を行ったり、チェックリストで振り返ったり、職員の言動・立ち居振る舞いに自覚を持つように徹底しています。	今後も全職員で事例検討を行うなど、一人一人が意識をもって考えることができるよう研修の内容を考えていきます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	今年度対象児はいません。やむを得ない身体拘束については実施時には必ず十分な説明を行い支援計画に盛り込むこととしています。	